

## 業務効率化と感染対策

## 相生 株式会社

**間接業務の軽減が喫緊の課題**

相生は、障がい者に生活介護・相談支援などのサービスを提供する事業者で、住吉区と八尾市に7か所のグループホームを運営し、35人のケアワーカーが所属する。各グループホームに配属されているケアワーカーは、各所でタイムカードを押し、運営事務所のスタッフが月末に各ケアホームを周り、タイムカードを収集、ケアワーカー全員の勤務時間を手作業で計算していた。毎月の勤務予定表も手作業で作成するなど勤怠管理に多大な労力をかけていた。また外国人のケアワーカーも同社に勤務しており、手書きで日報を作成することに苦労しているとの声もあがっていた。



相生 向井玄人 代表取締役

**クラウドサービスで、勤怠管理・営業日報作成の時間が大幅に短縮**

間接業務の軽減に向けてITを活用したいと、2020年の5月に大商の「IT・ビジネスアプリ導入サポートデスク」に相談。同デスクのコーディネーターが支援し、勤怠管理と日報作成が可能なクラウドサービスのテスト運用を開始した。日報についてはクラウドサービスを入れ、iPad上で音声入力が可能となり、問題が解決。また、勤怠管理については、夜勤や不規則なシフトでもあるので、更にカスタマイズ化が必要ではあるが、勤務時間の計算やタイムカードの回収の手間を省くことができた。

**今後は感染対策にもITを活用したい**

「福祉や介護の現場は、電話とFAXが主流で、まだまだアナログ。しかし、業務の効率化やコロナ感染拡大防止策として今後も積極的にITの活用に取り組みたい。ケアワーカー全体会議のオンライン化やグループホームの入居者の健康管理にITを活用していきたい。」と向井玄人代表取締役は語る。(取材日：2021年4月20日)

## 企業概要

企業名：	相生 株式会社
所在地：	大阪市住吉区苅田9-14-7
設立日：	平成27年02月
業種：	障害者福祉事業
Webサイト：	<a href="https://www.aioi-co.com/">https://www.aioi-co.com/</a>

